

初めてづくしの野球観戦

の ^{まち} 野田 ^{ゆうへい} 龍平

LCA 国際小学校 5年

4枚

「初めてづくしの野球観戦」

野町 龍平

会場中が、オレンジ色のタオルとメガホン
そして大きなブーンの歓声に包まれていくの
を急に感じました。まるで世界が、巨人のチ
ームカラーであるオレンジ一色にみるみると
染まっ^ていくように僕の目には映りました。

5回戦の裏、1アウトの時に、それまでの
対ひで負けていた巨人にミラクルが起きたの
です。何と一回の攻撃で巨人が12点も入れ、
その回のゲームは50分近く続きました。試合
を観ている僕まで大興奮していました。

初めて野球観戦をしたこの日、僕は最寄り
駅から初めて、一人で長時間電車に乗っ^て新
宿まで出ました。途中、お父さんとの待ち合
わせの場所にした新宿南口の改札口まで、自
分一人で迷わずに着けるのかどうか心配で
した。急行に乗り換えた駅で運良く座ること
ができましたが、「早く新宿駅に着かないか
な。」と不安で、手に携帯をずっ^と持ったま

ま、窓の外の風景を見ていました。

その後、待ち合わせの場所でお父さんと無事に合流をして、一緒に東京ドームに向かいました。東京ドームに着いてから、友達からもらった年間シートを持って窓口に行きました。チケットを交換し、入り口から試合会場の中に入る時、改めて東京ドームを外側から見て、その大きさにびっくりしました。東京ドームはまるで、白い大きなメロンパンの様な形をしていました。ドームの上が所々、メロンパンの上の部分にある様な斜めの線が入っているからです。また、ドーム入り口付近では、超巨大な扇風機が設置されていて、それが真横から僕にだけ向けられている様な強風でした。全体重を足に持つていて、しっかりと歩かないと前に進めない感じがしました。これは後から知ったことです。が、強い風はドーム内に空気を送り込むための仕組みになっていて、このように試合が行なわれる会場に

入って行き、僕達の座るシートをチケットを
手に探しました。シートを見付けて座ろうと
した時、それが新幹線にある座席みたいに感
じました。どうしてかというところ、座席の片側
に小さな机がついていたからです。また、こ
の日は真夏で特に暑い日でしたが、ドームの
中は不思議な程に涼しくなっていました。ま
るで、ドラえもんポケットからどこでも
ドアを使うって、会場ごと北極にワープした
みたいと感じました。快適なシートに座って

改めて僕はドーム内の会場を見回してみまし
た。ここには一体、いくつAが何十個入るの
かな？と思うくらい、とにかくドームの中
は広かったです。この東京ドームは、僕の人
生の中で今のところ、一番巨大な広さの建て
物だと思っています。

プレイボールの合図と共に試合がスタート
しました。最初の内は強いはずの巨人が負
けていたので、さすがに阪神チームは強い
な。しと思っ
て観ていま
した。阪神
が勝って

いる間、阪神ファンの大きな声と応援が熱か
つたです。会場はテレビの画面越しに観戦す
るのとは違い、声援を送るファンの一体感と
ライブ感をとにかく強く感じました。熱く盛
り上がっている阪神ファンに比べて、負けて
いた巨人ファンは皆んなシヨンボリとしてい
る様に見えました。どちらのファンの応援を
見ていても、「ファンは皆んな、まるで家族
の様なんだな。」と思える程、真剣そのもの
でした。負けて苦戦している巨人の選手に対
して、「今、負けているのは仕方ないけれど、
絶対にあきらめずに頑張れ!!」と僕は伝えた
かったです。

僕の心からの願いと、巨人ファン全員の想
いが通じたのか、それから突然にミラクルが
起きました。そのミラクルな試合の展開に、
会場中が一気に熱気に包まれていくのが、僕
の目にもはっきりと見えました。その熱気は
バーナーの火の様に、触ったらヤケドしそう
な程、熱い感じでした。さらに巨人ファンの

熱い歓声がドーム内に広がって、周りがますますヒートアップしていきました。僕には、会場のあちこちに松岡修造がたくさん座っていて、熱い声援を送っているかの様に感じました。それくらい、本当に盛り上がる試合で、僕も久し振りに大きな声で応援しながら、他の巨人ファンと同じようにオレンジ色の夕オールを頭の上で回していました。

今回、野球の試合を実際に観ることで、団体戦というものは決して一人だけの力ではなく、チーム全体が一つになって、次につながる。ていこうとする前向きな気持ちが必要なのだと感じました。一つの大きな力がエネルギーとなっていくのだと、僕の席から見ても伝わってきました。この巨人ー阪神戦は、神業的なリレーのバトンタッチの連続でした。僕にとっても、初めて観戦した野球試合で、大好きな巨人がファインプレーで勝ったこと勝ち方そのものがミラクルに思えて、心の底から嬉しかつたです。そして、この試合から

教えられたこともありません。それは、負けて
いたとしても、自分があきらめモードになっ
たらそこまでストツプしてしまう。でも、
自分自身や周りの友達のことを信じて、前に進
もうとすることによって、ミラクルは起きる
のだということです。最後まであきらめない
こと、自分の力を信じる勇気をもったよう
に思います。